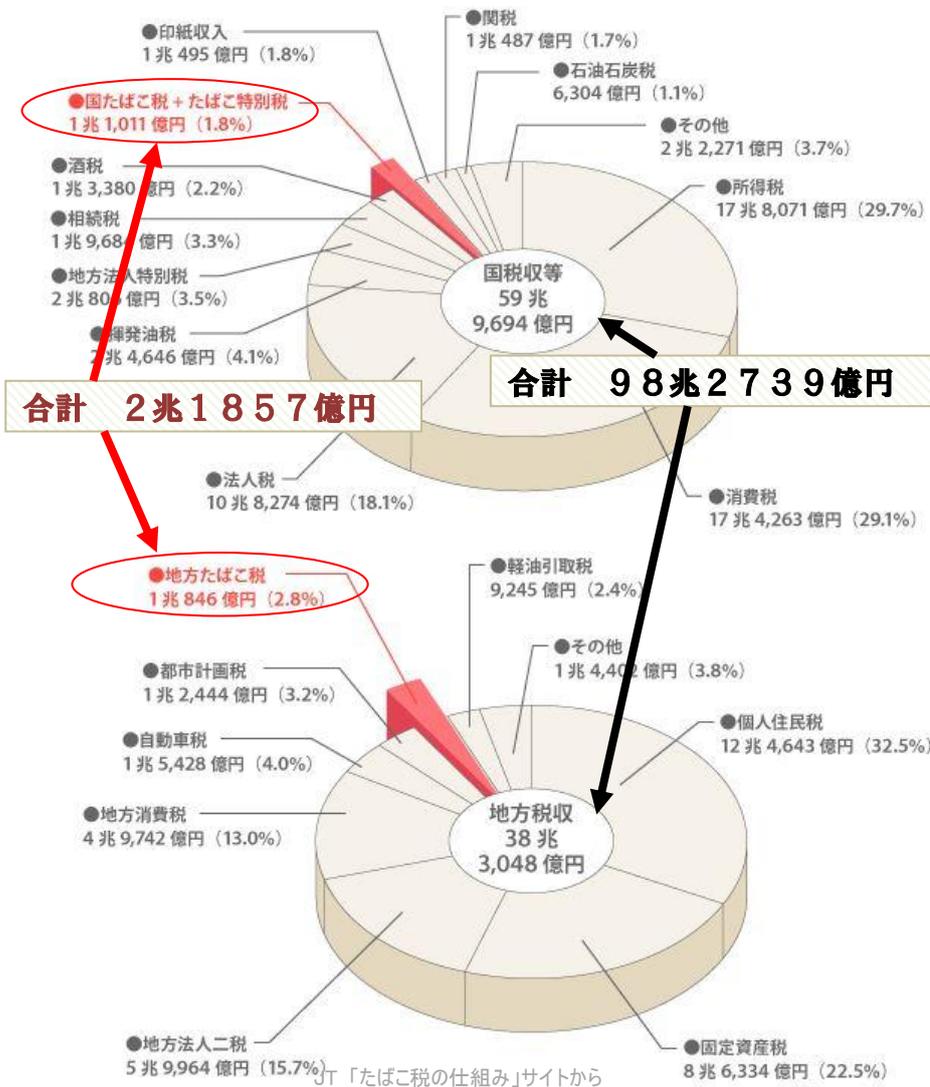


週刊 タバコの正体



タバコにはタバコ税が課せられている事は知っていますよね。左図は2015年度の日本の税収総額を示したグラフですが、国税と地方税を合わせると約100兆円、そのうちタバコ税は約2兆円を占めています。

2兆円と聞いても、すぐにイメージできませんが、100兆円のうちの2兆円だと考えると、そう多くないような感じもします。しかし、日本の国家予算には欠かせない財源である事は確かなのです。

つまり、国の財政上はタバコが多く売れる方が良いわけで、日本にはそんな都合にあわせるかのような法律が存在します。「たばこ事業法」と呼ばれるこの法律の目的が記された第1条を下に示しました。

たばこ事業法 第1条

この法律は、たばこ専売制度の廃止に伴い、製造たばこに係る租税が財政収入において占める地位等にかんがみ、製造たばこの原料用としての国内産の葉たばこの生産及び買入れ並びに製造たばこの製造及び販売の事業等に関し所要の調整を行うことにより、我が国たばこ産業の健全な発展を図り、もって財政収入の安定的確保及び国民経済の健全な発展に資することを目的とする。

「たばこ産業の発展」、「財政収入の安定的確保」、「国民経済の発展」が目的で、タバコの有害性には一切触れていません。国民の健康は無視してでも、財政収入を優先するかのような法律があるなんて、ちょっと驚きですよ。

産業デザイン科 奥田 恭久